

2013年5月23日

第17回世界半導体会議（WSC）の開催および結果について

一般社団法人 電子情報技術産業協会

本日、ポルトガル リスボンにおいて、世界の半導体企業の最高経営責任者（CEO）クラスの参加による世界半導体会議（WSC: World Semiconductor Council、以下、WSC）を開催しました。

WSCは、日本、欧州、米国、韓国、チャイニーズ台北、中国の6極の半導体企業および半導体工業会で構成されています。

今回の主催国は欧州であり、議長は欧州半導体工業会を代表してNXPセミコンダクター社 チェアマン兼 CEO Richard Clemmer氏が務めました。日本からは、JEITA半導体部会・部会長である株式会社 東芝 副社長 齋藤 昇三氏をはじめ、富士通セミコンダクター株式会社 代表取締役社長 岡田 晴基氏、ルネサスエレクトロニクス 執行役 矢野 陽一氏、の3名が参加しました。

1. 新しい半導体製品（MCO）の普及・促進

半導体製品は、絶え間ない技術革新により、新しい機能を集積した新製品を次々と生み出し、その範囲を拡大しています。WSCは過去6年に渡り、この新製品「MCO:ICと一般電子部品や半導体素子を組み合わせたマルチ・コンポーネントIC」の定義を審議し、広く普及をはかるために無関税となるように各国政府、WCO（世界税関機構）へ働きかけを行ってきました。今回は、合意されたMCO定義を用いて情報技術協定（Information Technology Agreement）の交渉の中に含めるよう、無税化に向けた働きかけを今後も継続して行っていくことが採択されました。2013年末までにITA拡大で無税化が実現されよう進めていくことが合意されました。

2. 環境対策

PFC(PFC: Perfluoro compound 温室効果ガス)排出削減自主行動

2011年WSCで合意した今後10年間の削減取組の第2回実績確認の機会となりました。結果は、排出量の絶対値で2010年比10.6%削減、生産面積原単位(kwh/cm²)2010年比5.5%削減を実現しました。

3. 知的財産権の保護:

(1) 実用新案、トレードシークレット

実用新案の運用6極にて調和がとれるよう、政府当局に対して対話を始めてほしいというステートメントが採択されました。また、トレードシークレットの問題については6極の政府当局に問題を認識し、対話を始めてもらいたいというステートメントが採択されました。

(2) 半導体製品の模倣品対策

6極の共通理解を進めるため、模倣品に対する共通認識を議論してきました。理解の共有を進めていく

中で模倣品の見極めのトレーニングを進めたり、ユーザーやディストリビュータに対しても半導体業界として情報発信するべきというコンセンサスが得られました。

以上に加えて WSC は、輸出入規制、暗号認証、貿易円滑化、紛争鉱物、マーケットレポート、国際統一原産地規則など、世界的な貿易を前提としている半導体産業の成長を阻害する可能性のある種々の規則の動向に大きな関心を持っています。

WSC は、関税障壁の撤廃、自由貿易の促進が半導体産業に多大な影響があることを認識しており、ドーハラウンド、ITA の推進について、各国政府及び世界貿易機関(WTO: World Trade Organization) へ働きかけています。

WSC では、今回の結果として共同声明（英文）を採択し、追って、Web サイト (<http://www.semiconductorcouncil.org/wsc/>) に掲載します。

次回は、2014 年 5 月に台湾 新竹にて開催予定です。

以 上

(参考)

■WSC : 1996 年 8 月の日米半導体協定の終結を受けて、既にグローバル化していた半導体のビジネスを反映して、多極の場で世界の半導体業界の共通問題について協議することが必要との認識に基づき、日米業界で WSC の設立に合意、1997 年 4 月に日米欧韓の半導体業界が参加して WSC の最初のミーティングをハワイで開催、今回で 17 回目となる。

WSC の Web サイト : <http://www.semiconductorcouncil.org/wsc/>